

報告・評価シート

【報告日 令和 8 年 5 月 12 日】

【評価日 令和 8 年 3 月 31 日】

事業所名 社会福祉法人 神戸あゆみの会 グループホームのどか・ゆうひ

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	ホームのどか・ゆうひ			人員配置	日中					
	指定日	令和元年	10 月	1 日		世話人	生活支援員				
	所在地	西区神出町宝勢 774-64				7 人	10 人				
	定員数（共同生活援助）	12 人				（常勤換算後）	（常勤換算後）				
	定員数（短期入所）	4 人				2.2 人	3.9 人				
	共同生活住居数	12 戸				看護職員の配置	☐ 有 ☒ 無 人				
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】			夜間					
	住居名：ホームのどか（2F）	6 名				世話人（夜間）	世話人（夜間）				
	住居名：ホームゆうひ（3F）	6 名				人	16 人				
	住居名：	名				（常勤換算後）	（常勤換算後）				
	住居名：	名				人	2.6 人				
	住居名：	名				看護職員の配置	☐ 有 ☒ 無 人				
	事業所の特色・独自の取組										
	2 利用者状況 （令和 年 月 日 現在）	障害支援区分	人数			内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
非該当		人			身体		総 数：	2 人			
区分 1		人					主に日中 GH で過ごす人数：				
区分 2		人			知的		総 数：	12 人			
区分 3		人					主に日中 GH で過ごす人数：				
区分 4		人			精神		総 数：	人			
区分 5		5 人					主に日中 GH で過ごす人数：				
区分 6		7 人			難病等		総 数：	人			
合計		12 人					主に日中 GH で過ごす人数：				
年齢構成		・ 60 歳以上 4 人 ・ 50 歳代 5 人 ・ 40 歳代 2 人 ・ 30 歳以下 1 人									
障害特性等		医療的ケアの必要な者 人			強度行動障害のある者 人						

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
3 地域に開かれた運営	利用者に対する指定計画相談支援の提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等 (12) 名中 (0) 名 入所された際に同法人の相談支援事業所に変えられる家族が多い。	☐ 問題なし
	実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 2 名・ボランティア 0 名 (受入事例) 生活介護で受け入れた実習生(トライやる)をグループホームにおいても受け入れた。ボランティアセンターにも登録している。	☐ 問題なし
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) 地域の祭りなどに参加した。	☐ 問題なし
4 常時の支援体制の確保	日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 職員と世話人を合わせて常時、3 名以上の職員を配置している。	☐ 問題なし
	災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) 災害時におけるマニュアルの作成、年 2 回昼間、夜間を想定した避難訓練の実施。	☐ 問題なし
	体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(急な体調変化等)) 管理職、役職、看護師への連絡体制の確保や緊急連絡カードの作成、協力機関との連携等を実施している。	☐ 問題なし
	利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(心身状況等を考慮した食事提供) 利用者の嚥下状態に応じた食事形態で提供している。	☐ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
5 短期入所の併設	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 4名 外部の受け入れは進んでいるが日中の受け入れは進んでいない。	☐ 問題なし
	緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	(緊急受入人数) 1名 (緊急受入事例) なし	☐ 問題なし
6 支援の実施・質の確保	充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) 週末にウォーキングや近隣のお店で嗜好品を購入している。イベントとして外食や調理体験を実施している。	☐ 問題なし
	支援の質の確保に努めているか。 (研修等)	(参加した研修名等) 研修 (全員) 名 研修 () 名 虐待防止研修、ケース検討会、緊急時のガイドライン、服薬・ブラッシング研修など必要に応じて参加している。	☐ 問題なし
	体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 0名 (体験利用の事例) なし	☐ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	改善や見直しに取り組んでいるか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと) (利用者・家族からの意見・希望) 余暇支援やイベントで色々な経験を積んで楽しさを提供してほしい。健康面に気をつけて欲しい。	☐ 問題なし
7 利用者の権利擁護等への配慮について	利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) 事務所内金庫で管理、出金時、精算時の支援員と事務員のダブルチェック体制。月1回程度の家族や後見人の出納帳の確認と定期的に事務員及び管理者が確認している。 (成年後見制度の利用支援及び利用者数) ・利用支援事例等(■有 □無) ・有の場合の支援内容記載(利用者数 2人)	☐ 問題なし
	利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取り組み) 個人情報スタッフルーム内の書庫で管理しており、必要時は上司に許可を得てから持ち出し、返却時に確認を行っている。選択肢は写真などを用いてイメージしやすい工夫を行っている。同意書は事前に家族から同意書等をとっている。	☐ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) 年1回、全職員が虐待防止研修を受けている。 (虐待発生時の対応、発生後の対応等) 苦情窓口の設置や虐待防止委員会を設けている。	☐ 問題なし
8 入居/退去状況について	報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 0人 (報告・評価対象年度の退去者数及び事由) ・退去者数 人 ・主な退去事由: ・主な退去事由:	☐ 問題なし
9 他の日中活動サービスの利用	G H内でどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をG H内で過ごす利用者に対する支援・サービスの提供) 日常生活では掃除やゴミ捨てなど出来ることを見つけて提供している。余暇支援ではウォーキングや各個人で楽しめる音楽、創作などを提供している。	☐ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	他の日中活動サービスの利用を妨げているか。	(他の日中活動の利用状況) 他の日中活動サービスを利用(12)名中(12)名 (主な他の日中活動サービス種別・利用先) 生活介護サービス なごみの里	☐ 問題なし
10 利用者の健康管理	日々の利用者の健康管理をしっかりと行っているか。	(医師や看護師の訪問有無及び頻度) 必要に応じて訪問を実施 (健康チェック方法について) 血圧測定や起床時、帰宅時、就寝時に検温を実施。 必要に応じて排泄チェックを実施	☐ 問題なし
11 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況の事例について) 明石市の利用者はガイドヘルプ事業所の契約を行い、ガイドヘルプを利用している。	☐ 問題なし
12 その他	<独自に定める項目を記載>		☐ 問題なし
13 (2回目以降) 協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	(要望・助言の内容及びその対応) 同法人の施設が同じ地域にあることで自治会の催しなどに参加しており、地域に対する基盤はあると考えている。評議員に地域の方が数名おられる為、意見交換など必要な時に実施している。	☐ 問題なし

